

なごやか子どもクリニックコミュニティー誌

なごやか Kids


NAGOYAKA
CHILDREN'S CLINIC
なごやか子どもクリニック
2013
vol. 21
1月・2月・3月・4月



Q&A 夜尿症について(3)

なごやか対談コーナー
上條院長のなごやかトーク①

お知らせコーナー
四種混合ワクチン、始まりました。

なごやか
対談
コーナー

上條院長の なごやかトーク①

ゲスト/トランペッター
西崎佳代子さん



子どもたちこそ本物を

上條院長(以下院長)／対談1回目は、「美しすぎるトランペッター」西崎佳代子さんにお越しいただきました。西崎／よろしくお願ひいたします。

院長／西崎さんとは共通の友人を介して知り合ったのが縁で、クリニックでも素敵な演奏をお願いしています。普段のライブと違って、子どもたちの前で演奏するのは、どんな気分ですか？

西崎／「子どもたちこそ本物を」と企画されている先生のお考えは素晴らしいと思います。私自身もそうでしたが、いくら小さくても、本物ってわかるんですね。だから、演奏する側も決して気を抜けません。

院長／西崎さんも、子ども時代から一流の音楽に触れていたのですか？

プロの演奏に触れ、将来音楽の道に進むお子さんが誕生してくれればいいですね。名古屋の子どもの健康と成長を見守る「なごやかこどもクリニック」の院長が、名古屋を拠点に活躍する方々をお招きし、子ども時代のエピソードや今後の活動についてお話を伺います。初回は、クリニックのクリスマス会などでも馴染みの西崎加代子さんがゲストです。

西崎／ええ。10歳でトランペットを始め、名古屋青少年オーケストラに入団して、一流の指導者から指導を受けた。プロのプレイヤーといっしょに演奏したりしていました。マイケル・ジャクソンの最初の東京公演など海外の一流アーティストやオーケストラのコンサートも見にいってましたね。そのときの衝撃は今でもよく覚えています。考えてみるとかなり高額なチケットですから、一般的なサラリーマンの家庭で、両親はよく行かせてくれたと感謝しています。

院長／音楽でも絵でも何でも、本物に触れる機会をつくってあげることが大切ですね。すぐに結果が出るわけではありませんが、子どもなりに何かを感じ取ってくれると思います。

西崎／小さい子どもを連れて行ける公演は少ないですから、クリニックのイベントはお母さん方にも貴重な機会だと思います。

これからもクリニックの イベントには出演しますよ

院長／昨年はファースト・アルバムを発売され、西崎さんにとって飛躍の年になりましたね。

西崎／ありがとうございます。このCDは、フュージョンユニットDIE MEN SIONのピアノスト



小野塚晃さんが、クラシックの名曲をジャズにアレンジしてくださったものです。ほかにもベース納浩さん、ドラム鶴谷智生さんと、日本を代表するジャズメンが参加してくださいました。

院長／堅苦しいイメージのあるクラシックも、ジャズ風になると聴きやすくていいですね。

西崎／ええ。お子さんにも楽しく聴いていただけたらと思います。

院長／私としては、これをきっかけに世界へ羽ばたいてほしいと思う反面、西崎さんが有名になりすぎるとちょっと寂しい気持ちもします(笑)。

西崎／大丈夫ですよ。もちろん、東京や大阪、そしてアジアにも進出したいですが、あくまでも私のベースは名古屋です。クリニックのイベントには、これからも必ず出演させていただきます。

院長／それを聞いて安心しました。クリニックでのプロの演奏を聴いたお子さんの中から、将来音楽の道に進む人が誕生するといいなあと思っています。今年は、会場を借りて大々的なイベントもやりたいと思っているので、ぜひこれからもご協力をお願いします。本日はありがとうございました。



プロフィール／西崎佳代子

名古屋市立菊里高校音楽科卒業。愛知県立芸術大学音楽学部器楽科卒業。中部地方を中心に、オーケストラ、アンサンブル、ソロで活躍するほか、後進の指導、コンサートやイベントの企画・プロデュースも行っている。2012年9月、ファースト・アルバム「Kayoko Nishizaki」リリース。





夜尿症について(3)

前回2回にわたって夜尿症についてお話ししましたが、いよいよ今回は最終回となります。

Q1 「がまん尿」って何ですか？

A1 尿意を感じてもすぐにトイレに行かず、排尿をできる限り「がまん」します。通常2、3時間以上がまんしてから尿を取り(がまん尿)その量を測ります。このがまん尿量が膀胱の容量(最大)となります。この量が少ないために起きる夜尿は「膀胱型」といわれます。夜尿症の中で最も多いタイプです。

Q2 夜尿症と低身長の関係は？

A2 低身長で外来を受診されるお子さんでは夜尿があることが多いように感じます。この「低身長」と「夜尿」には、証明されていませんが何らかの関連があるように思われます。夜尿のあるお子さんの場合、身長に気をつけることも必要かと思われます。

Q3 夜尿症の新しい薬が発売されたと聞きましたが。

A3 多尿型の夜尿症のお子さんでは「抗利尿ホルモン」で効果がみられることがあります。抗利尿ホルモンが夜間の尿量を減らします。これまではこのホルモンの点鼻薬(デスマプレシン)が使われてきました。

昨年より、この薬が内服薬(ミニリンメルト)として、保険で使えるようになりました。



Q4 尿崩症と夜尿症のちがいは？

A4 尿崩症は脳下垂体から分泌される「抗利尿ホルモン：ADH」が不足するために起こる病気です。治療しないと1日の尿量が3ℓ以上になることがあり、尿崩症の原因として脳腫瘍などがあるので、注意が必要です。治療は点鼻薬(デスマプレシン)で行います。夜尿症はこれまでもお話したように、多くは病気ではありません。



四種混合ワクチン、始まりました。

平成24年11月より従来の三種混合ワクチン(注射)と単独のポリオワクチン(経口)に代わり新たに注射による四種混合ワクチン(破傷風・ジフテリア・百日咳・不活化ポリオ)が導入されました。対象年齢は生後3ヶ月～8・9ヶ月。計4回の接種になります。

ただし、単独のポリオワクチン・三種混合どちらも未接種の人が対象です。

三・四種混合ワクチンの中でも百日咳は乳児がかかると重症化し命に関わる事もあるので生後3ヶ月になったら接種しましょう。予防接種は健康な人が元気な時に接種し抗体を作りその病原体の感染を予防するものなので、体調のよい時に受けるのが原則です。

東日本大震災からもう少しで2年を迎えます。被災地の方々は今でも寒い中大変な生活を送っていることが想像いたします。

多くの日本人の意識にも変化があったように感じます。「命三心三絆」などという文字がよく見られるようになりました。昨年生まれた、女の子で最も多い名前が「結衣(ゆい)ちゃん」のことです。私どものクリニックでも「絆(きずな)ちゃん」「紬(つむぎ)ちゃん」などの名前をみかけます。

このお正月には、ご家族・親戚でその絆をさらに深められたこと存じます。「巳年」はこれまでにまいた種が実を結ぶ年といわれています。今までの困難を乗り越えて、本年が復興の年となることを期待したいと思います。

平成25年 元旦



結衣ちゃん 1歳



新年のご挨拶





イベントインフォメーション



イベントのご案内

なごやかこどもクリニックでは、さまざまなイベントを行っています。

クリニックの
催し

1

ベビーマッサージ

会場/クリニック待合室
参加費/1,500円
定員/6組(予約制)

平成25年
毎月
第3木曜日
午前10:00~11:15

参加費
1,500円

2

KIDS FITNESS

会場/名城公園
参加費/1回 2,000円
対象年齢/年中から小学生ぐらいまで
定員/10名

平成25年
毎月
第3日曜日
(変更あり)開催
午前9:00~10:30

参加費
2,000円
(1回)

3

ひなまつり会

会場/クリニック待合室
参加費/無料

平成25年
3月上旬
予定

参加費
無料



クリニック クリスマス会

平成24年12月15日(土)
in 市民フォーラム21 NPOセンター



平成24年12月15日(土)PM15:15~17:00まで市民フォーラム21・NPOセンターにて「クリスマス会」を行いました。プロのミュージシャンの演奏、スタッフによるパネルシアターや触れあい遊び、サンタさんの登場など盛りだくさん!!

たくさん笑顔がみられて素敵なクリスマス会となりました。



サンタクロースの登場!!



仲良く集合写真「メリクリスマス☆」



パネルシアター「森のクリスマス」



ミュージシャンの演奏



クリニック診療時間(予約優先)

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	●	●	●	/	●	●◎
14:30~15:30	☆	☆	☆	/	□	★
15:30~17:30	☆	◎	◎	/	☆	★
18:00~20:00	●	●	●	/	●	/

※19:30 受付終了

※土曜日は13:00まで

● 一般診療
☆ 予防接種

◎ 成長発達(内分泌)外来
★ 肥満・糖尿病外来(月1回)

□ 乳幼児健診



スタッフ紹介



吉田 和代 YOSHIDA KAZUYO
(看護師 非常勤)

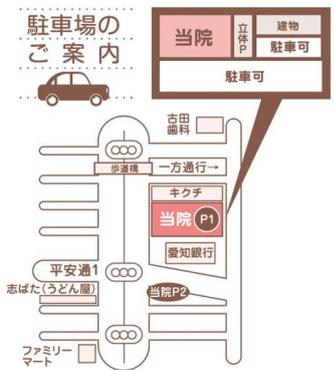
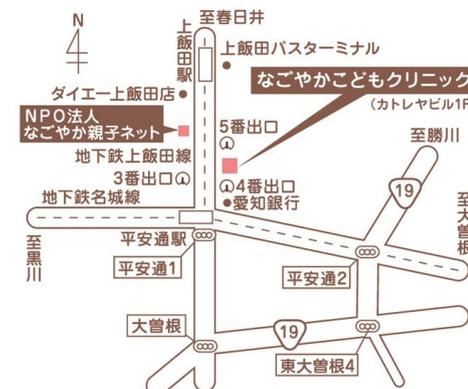
いっしょにがんばって
いきましょう!

福井県越前海岸出身、自宅は長野の安曇野。娘二人を安曇野に残し名古屋に参りました。情けないことに、未だに菜でプチ迷子になっております。

当医院には平成24年4月からお世話になり、半年以上経過しております。看護師歴は長いのですが、小児科勤務は初めてでしたので、「小児科」を教科書等で再学習し、気合いを入れて努める毎日です。

半年が過ぎ、最近、教科書の真実を改めて実感しております。最初お会いした時、お座りが出来るかどうかだったお子様が、今では歩いておいでになっているのです。成人の看護が長かった私にとって、衝撃でした。

毎日、未来に向かってキラキラ成長している子どもたち。その子どもたちが早く元気になり、ご家族に笑顔が戻りますよう、一生懸命お手伝いしたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



名古屋市中区平安2丁目1-14(カトレヤビル1F)
TEL 052-911-7580 FAX 052-911-7611

www.nagoyaka-child.com/